

令和2年度佐久農業青年のつどいを開催しました。

12月2日、「佐久農業青年のつどい－新規就農者激励会及び佐久農業青年プロジェクト活動・意見発表会－」を、佐久合同庁舎で開催しました。

今年度、佐久地域には33組の方々が新規就農し、このうち9名が新規就農者激励会に参加されました。今後の農業への抱負を語っていただき、先輩農業者及び関係者からは激励の言葉を贈りました。

引き続き、プロジェクト活動・意見発表会を行い、プロジェクト活動の部では3名が経営や栽培上の課題解決の取り組みを発表し、意見発表の部は3名から就農までの経過やこれからの夢について熱く語っていただきました。

審査の結果、プロジェクト発表の部では佐久穂町の大塚潤也さんが、意見発表の部では小諸市の稲垣佳代子さんが最優秀賞を受賞し、来年2月に開催される「明日の長野県農業を担う若人のつどい（プロジェクト活動・意見発表会）」に推薦されました。

また、野辺山高原などでハウレンソウを大規模に経営する株式会社アグレスの土屋梓社長より、「日本ーアグレッシブ！な農業を目指して」と題し、農業青年に元気と一層のやる気を与える講演をしていただきました。

今年はコロナ禍で、交流会はできませんでしたが、参加者相互に情報交換が行われ、有意義なつどいとなりました。



新規就農者への先輩からのメッセージ



プロジェクト活動成果の発表